

畑野町の現状と課題

【まちの資源・利点】

<自然・環境>

- ・緑が豊か、星空、霧がない、空気が美味しい
- ・水がきれい、サワガニや淡水生物が多く生息
- ・里山がある、フキやワラビなど山菜が取れる
- ・診療所、ふれあいセンター、介護施設がある
- ・周りを山で囲まれた盆地、活用できる土地が豊富
- ・半国山、剣尾山、深山のハイキングコースがある

<文化・伝統>

- ・法常寺（文化財）がある

<産業>

- ・農産物が豊富（米を中心に種々の野菜）
- ・寒天の天然製造が残っている（市内で唯一）

<住民>

- ・自治会組織を中心にしたコミュニティ組織が自立
- ・いろんな職業、経験をもった人が住んでいる
- ・他の地域から引っ越してきた人が多い
- ・60～70歳代の住民が多く、皆元気である

【まちの課題・足りないもの】

<アクセス>

- ・交通機関が少ない（バス便数、大阪方面への路線）
- ・道路整備が遅れている

<生活基盤・施設>

- ・警察、消防の安全施設がない
- ・郵便局、ATMがない
- ・買い物をする商店がない
- ・働く場所がない⇒若者が住み着かない
- ・荒廃農地の増加（農業経営の悪化）
- ・空き家、山林化した宅地が増加

<人との関わり>

- ・子どもがいない⇒10年間で10分の1に減少
- ・高齢者世帯、母子家庭が多い
- ・人のつながりが希薄化（自治会加入率が60%台）

<その他>

- ・有害鳥獣が増えた（農作物被害、交通事故）
- ・急傾斜地、土砂崩れ危険地が多い

【現状】

- ・美しい自然がひっそりと残っている
- ・空き家が増えて、人口が減少
- ・住みにくいまち（交通・施設・就業）
- ・課題があるが、良いところも多くある

【にぎわいのあるまち】

- ・人の集まり、子ども、イベント
- ・経済的なうるおい、外からの入込み

【安心して暮らせるまち】

- ・防犯・防災、地域コミュニティ
- ・緊急時の対応、住民の見守り

【癒し・うるおいを感じるまち】

- ・環境保全、景観・緑化推進
- ・地域コミュニティ、やさしさ・温かさ

外からどう見られているのか？
このまちをどうして行けばよいのか？

29年度

- ・自治会ホームページを作成する
- ・住民アンケートをとる

30年度

- ・まちづくりのビジョンをつくる

【目指すまち・将来のまちの姿（提案）】

<生活>

- ・高齢になっても畑野で生活できるように
- ・車がなくても支障なく生活できるように
- ・町民が地元の農産物を食せるように（地産地消）
- ・子どもを安心して育てられるまちに

<環境>

- ・きれいな水・緑が、将来も残せるように
- ・大路次川を遊べるようなきれいな川に復活
- ・半国山を整備して親しめるように

<名物・特産品>

- ・寒天を地元産品として復活
- ・古民家を生かした集客施設
- ・半国山・法常寺・るり溪をつないだ散策ルート
- ・道の駅のような地元産品を売り発信できる場所

<人のつながり>

- ・子どもの声が聞こえて、笑いが聞こえるまちに
- ・住民同士が集える場が多くあるまちに
- ・世代を越えてふれあえる場があるまちに

住民が畑野を知り、参加する意識付け
外からひとや資本を流入できるもの
今ある資源を発掘、付加価値をつける

快適で 誇りがもてる畑野町
里山に笑顔あふれる畑野町
訪れたいと感じさせる畑野町
住み続けたいと思う畑野町

